

本県前橋産のバラを生産者が自ら売り込み

～前橋バラ組合が大田市場仲卸店舗でフェアを開催～

前橋バラ組合フェア

- 日時 / 3月10日(金) 朝4:00～9:00
- 場所 / 大田市場仲卸通り 仲卸業者「フローレ21」内 (東京都大田区)
- 内容 / 前橋バラ組合生産者自らによる買出人に向けた宣伝及び販売

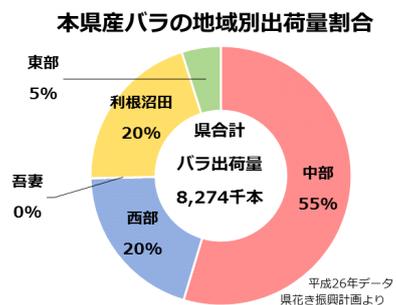
本県バラ産地・前橋市の中でも中心的な生産出荷組織である前橋バラ組合(10戸、施設面積約1万2千坪、年間出荷量約340万本)では、年度末の需要期、そして春の出荷ピークを迎えるにあたり、大田市場を訪れる買出人に向けた「前橋バラ組合フェア」を開催し、こだわりの品質管理等を説明しながらPR販売を行いました。

生産者自ら「前橋バラ組合のバラ」をPR販売！本県産バラを牽引する“まえばしのバラ”

早朝4時、まだ外が暗いうちからにぎわいを見せる大田市場の仲卸・フローレ21にて、前橋バラ組合の7名の生産者は行き交う買出人へ向け「前橋のバラ」を宣伝し、PR販売を行いました。今回用意したバラは合計2,000本以上で、生産者は来場する方々に対して、色味や香りなど品種の特徴、花の日持ち、管理方法、そして生産現場における徹底した品質管理などを丁寧に説明しながら、品質の高さや豊富な品種数などもアピールしました。また、会場には「ぐんまのバラ」を応援するためぐんまちゃんも駆けつけ、4時から行われた販売は9時前に完売となり、盛況のままフェアは終了しました。

本県中部地域は県内バラ出荷量の55%(26年)を占める主力産地であり、中でも前橋市は前橋バラ組合のほか、市場でも名の通った生産者が多数おり、バラの一大産地となっています。

前橋バラ組合は、全国トップクラスの生産量を誇る静岡県や愛知県などの産地には規模の面で劣ってしまうものの、品質の高さや品種のラインナップ(選ぶセンス)においては市場(卸や仲卸、小売店)でも高い評価を受けています。その証拠として、全国規模のバラ品評会においても農林水産大臣賞を受賞するなど毎年優秀な成績をおさめています。(第58回日本ばら切花品評会にて農林水産大臣賞受賞)



大田市場仲卸通りで行われたフェアの様子



前橋バラ組合の若き担い手



品種ラインナップも前橋バラ組合の魅力

ぐんまのバラを各所でアピール“ぐんまのバラポスター”

本県産バラの認知度とその品質の高さを、花き関係者、一般消費者等へ広く伝えるため、蚕糸園芸課では“ぐんまのバラポスター”を作成し、PRに活用しています。今回行われた前橋バラ組合フェアにおいても、本県産としてのPR効果を高めるためフェア会場へ掲示するなど活用しました。

また、業界関係者が日々出入りしている花き市場でも本県産バラをPRするため、卸会社や仲卸店舗へ配布し掲示していただいています。大田市場においても卸会社の受付窓口やオークションルーム、仲卸店舗などに掲示され、本県のバラがアピールされています。



ぐんまのバラポスター



仲卸店舗に掲示された様子